

公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和4年度分）

（宛先）岡崎市長

令和5年3月27日

団体名 高齢者体験サポータークラブ

代表者 木村 一彌 構成員 8 人 （※令和5年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

高齢者福祉に関する必要な知識を身に付け、福祉実践教室の場を、高齢者に対する理解を広める活動を行ない、地域での高齢者福祉活動の促進啓発等に寄与することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどんな活動をしましたか（公益活動に限る）。

活動日 又は期間	場 所	受益者※		活 動 内 容	効 果	分類 ※
		会員以外	会員			
5/31	光ヶ丘好高校	78	3	体に装具を付け、廊下や階段を歩き豆つゆを体験する	困まっている高齢者や障がいのある人を見守り支援する	③
10/3	矢作北小学校	70	3	〃	〃	③
11/15, 11/22, 12/9	広中番小学校	92	3	〃	〃	③
12/7	常盤小学校	39	3	〃	〃	③
3/15	本宿小学校	55	3	〃	〃	③

新型コロナウイルス感染拡大防止のため（新型コロナウイルスの影響により）公益活動が全く実施できなかった。（該当する場合)

※受益者 団体が提供したサービスを受けた人

※分類 ①=人を助ける活動 ②=活動の担い手を育てる活動 ③=人々を啓発し、団体の目的を広める活動

☆活動についてチラシ、報告・記録などがありましたらあわせてご提出をお願いします。

■ 2 前項1に基づき、活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← ⑤ 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください

生徒に高齢者疑似体験をほらい、年を取ると体の動けなくなる事や理解できず助けを要する原動力に別れた。合わせて高齢者にとって住みやすい社会作りにも寄与出来たと考えます。